

さわでい

สมาคมมิตรภาพ ไทย-ชาวสยาม

2009年10月
21号

発行

埼玉・タイ王国友好協会事務局
〒350-1192 川越市田町32-12
武州ガス株式会社内 ☎049-247-5428

埼玉・タイ王国友好協会会報

URL: <http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

埼玉王

第11回 総会開催 タイ王国大使を迎えて懇親会

去る六月十二日、川越東武ホ

テルにおいて、第十一回総会と懇親会が開催されました。今回は初めて川越市内の会場で行われ、法人個人会員合わせて、九十名の出席がありました。

総会では冒頭、昨秋亡くなられた土屋前名誉会長に黙祷を捧げた後議事に移りました。

本年度は役員改選を含む四つの議案が提案され、一号議案では、バーンバーンハウエイタード校への図書館建設と引渡し式の報告がされました。また本年度事業計画案では、施設建設事業について、検討委員会を設けて検討し役員会に諮問することになりました。

その後、タイ政府派遣留学生、チムプラン・コムサック氏による「日本留学から学んだこと」と題した講演会が行われ、新鮮で示唆に富んだ内容に出席者はうなずきながら耳を傾けていました。

総会後の懇親会には、スウィット・シマサクンタイ王国大使や土屋品子顧問が来賓として出席、挨拶を述べられました。土屋氏は父君である土屋前名誉会長の当協会への思いを話され、出席者はタイ支援の活動への思いを新たにしました。



▲総会風景

▼笑顔と話題に包まれた懇親会会場



▲懇親会で挨拶する土屋品子顧問



▲懇親会で挨拶する原会長



▲懇親会で挨拶するスウィット・シマサクンタイ王国大使



▲総会冒頭、土屋前名誉会長に黙祷を捧げた。



▲懇親会で歓談を楽しむ出席者



▶講演するチムプラン・コムサック氏



第11回 埼玉・タイ王国友好協会 総会 講演会



▲コムサック氏と歓談する原会長

役員紹介

総会審議の結果、次の方々に役員に就任していただくことに決まりました。

(敬称略)

副会長



平沼 康彦
（埼玉県商工会
議所連合会顧問）

副会長



藤原秀次郎
（埼玉経済同友会
代表幹事）

副会長



西條 正和
（新電元工業㈱
元常務取締役）

幹事



利根 忠博
（埼玉県経営者
協会会長）

幹事



新井 智則
（本田技研工業㈱
埼玉製作所
事業管理部長）

幹事



笠井 和子
（ガールスカウト
日本連盟埼玉県
支部元支部長）

幹事



前島 静顕
（医顕正会理事長）

幹事



細沼 哲夫
（日本伸管㈱
代表取締役）

幹事



藤池 誠治
（㈱デサン
代表取締役）

幹事



吉野 寛治
（吉野電化工業㈱
代表取締役）

幹事



小嶋 一晃
（埼玉県公園緑
地協会 理事長）

監事



大久保 敏三
（㈱丸広百貨店
代表取締役）

監事



伊藤 明
（ユウアイ電子㈱
代表取締役）

講演会要旨

日本留学から学んだこと

プロフィール
チムプラン・コムサック氏



二一歳。タイ政府派遣留学生として、4年前に来日し尚美学園大学総合政策部4年在学中。昨年の「NRU（野村総合研究所）学生小論文コンテスト」の留学生の部で、優秀賞受賞。来春より神戸大学大学院法学研究科に進学予定。

○日本の印象

私が日本への留学を決めたのは、なぜ小さく資源に恵まれない日本がこのように裕福で科学技術が進んでいる国となったのか疑問に思ったからです。

日本に住んで「日本人は、よく歩き、よく働き、きまりを守る」と感じるようになりました。「きまりですから」と言われるともう反論の余地がありません。あまりにも「きまり」が多い日本社会とあまりそれがないタイ社会、どちらがいいのでしょうか。答えは難しいのですが、発展の望まれるタイでは、もう少し決まりを守る意識を持たないといけないと思います。

今まで最も印象に残ったものは、タイにはない四季があることです。四季があるから日本人は希望を得、遅く生きていると考えられます。日本人の襟に関する考え方も、自分の目で見て初めてわかりました。

○驚いたこと

日本に来て驚いたことは、貧富の差がありません。私はよく地方に旅行に出掛けますが、田舎と都会の生活がほとんど変わりません。タイで、日本は総中流社会と聞きましたが、本当にそう感じます。タイの都市部は目覚ましい経済発展を続け、日に日に姿を変えていくのに田舎の生活は同じスピードで改善されていくのでしょうか。日本の田舎を見ながらタイの農民たちの行き先を心配せずにはいられません。

○日本の若者について

日本の友達に、「なぜ日本の大学生はあまり勉強しないの」と聞いたら、「大学の時しか遊べないから」と答えました。タイの学生は大変よく勉強します。それは良い仕事に就き、良い暮らしをしたいからです。日本では特に頑張らなくてもいい生活ができるように見えます。でもこの状態が続けば日本の発展はストップします。資源の少ない日本は、勤勉な国民性と、質の高い労働力で世界第二の



武州ガス(株)

原 宏
取締役会長

会長



顧問

山口 泰明
前衆議院議員



顧問

土屋 品子
前衆議院議員



今年も大賑わい



▲シマサクン タイ王国大使に迎えらるる原会長

毎年連休後の恒例行事となっているタイ・フェスティバル。今年も五月十六、十七日の両日代々木公園で開催され、人気のタイ料理テントには開場早々に行列が出来ていました。

十六日、原会長も吉田事務局長らと記念式典に出席するため会場を訪れ、スウィット・シマサクンタイ王国大使の出迎えを受けた後、会場を見て廻りました。今年は第十回を迎え、タイ大使館のブースでは、その歴史を語る様々な展示がされていました。原会長は当友好協会の名前が記された第三回のポスターを懐かしげに見た後、桜花を型どった短冊に当友好協会の祝意を書いて吊るしていました。

また、セバ・タクローという東南アジア独特のスポーツのデモンストレーション会場では、タイの選手たちと交流した後、試技を楽しむ来場者の姿を眺めたり、ステージで披露されたタイの民族舞踊や音楽を観賞しました。



▲セバ・タクローの選手達と歓談



▲短冊を書く原会長

ダルニー奨学金 本年度の授与者

本年度の新規授与者は、次の五名
(年間一人一万円
で三年間)です。



プラワット・
シャフエラム

13歳



スニザ・
カニファ

12歳



アンサリカ・
アドアノン

13歳



カニダ・
タイラトック

13歳



ナムベチ・
チャウカトク

13歳

経済大国にまで上りつめました。その基礎が崩れれば、日本の未来は暗くなるのではないかと私は心配しています。

○日本の漫画から学んだこと

日本に来て、日本は本当に「漫画大国」だと実感しています。タイ人は、漫画を子供の娯楽と思いついています。日本人はなぜこれほどの興味を持っているのか、日本に来てからたくさん漫画を読みました。学習漫画も良く売れているようです。それで強く感じたのは、「面白さ」と「便利さ」です。時には笑いながら勉強している気分になります。

私の好きな「ドラえもん」は、今考えると、まさに日本人の感性の象徴であるかのように思えます。百年後日本人は、本当にドラえもんを作ってしまうのかもしれないと最近感じます。

○日本語の面白さ

日本にきたばかりの頃、仲良くなったAさんに「今度食事でも」と言われましたが、実際には誘われませんでした。「今度」とはいつなのか。なぜ日本人は本心でない言葉を使うのでしょうか。私には未だ日本人の言葉のどこまでが本音で、どこまでが建前なのか、見当が付きません。日本人との付き合いも表面上で終わることが多く、日本社会に溶け込みたいと思っても思うようにいきません。

万物は千差万別で、人間の考えや言語様式も決して一律ではありません。異文化間の接触では「あいまいな日本語」こそ、人間関係を和らげ、平和なムードを作るのに最適な言語ではないかと私は思います。マイナス面もありますが、プラス面がより多く大いに評価すべきです。こんなに便利で素晴らしい言葉を持っている日本人が、それを誇りとして感じないのは、もったいないことです。

○私から見た日本人の特徴

日本に長く滞在している外国人の場合、日本人は自分の意見や本音を言わない、外国人に差別感を持っているなど日本人に対する考えはかなり厳しいものがあります。でも私にはそれが良いところと思ってしまうことがあります。

日本人は自分の気持ちを言葉や文書で表すのが世界で一番上手だと私は思っています。日本の社会では他の国より感謝や謝罪の気持ちを表す言葉が多いように思います。日本人はお礼と感謝の気持ちを言葉に出して、深々と頭を下げて、謝ることによって社会の秩序と平和を保ってきたのです。もしかして日本経済の成功の「秘密」は、この日本人の「和」の精神にあるのかもしれない。

以上のように私は異国の文化に触れ大きく成長することができました。今までお話しした体験や経験を活用して将来もタイと日本の架け橋となるよう努力していきたいと思っています。

タイにアクセス

会員 VOICE

感覚や感情が似ていますね

所沢市 高橋健太郎 さん



タイとの付き合いは15年前、学生時代にバックパッカーとして訪れたのが始まりで、最初の印象は「パワー溢れる国」でした。それから仕事上も含め、20回以上訪問している最も身近な外国ですが、今もその印象は変わりませんね。

タイ人の性格は一般に思われているのとは違い、実際は真面目でコツコツと仕事をしますね。以前、友人の経営する会社を見学して、その姿に大変驚き感銘しました。

この9月に家族と共にバンコクで、タイの歴史と文化を物語る壮大なショーを見たのですが、この中で、タイ人の精神的背景が、仏教の因果応報の教えに基づいている事を知り、これまで不思議に感じていた、彼らが何処か日本人と近い感情・感覚を持ち合わせている事への理由に納得がきました。

これからもタイとの「身近な付き合い」は続くと思います。この会の親善訪問にも是非参加してみたいと思います。

アラカルト

会に行きませんか？

日本にいるタイの象

日本にはタイの象が13頭以上いますが（'09・3月現在）一番のベテランは、井の頭自然文化園のはな子、62歳。2歳で来日、4歳の時上野動物園から移りました。性格は陽気で愛想がよく来園者が来ると喜びます。上野動物園には、雄のアーティットと雌のウタイで、愛子様誕生記念に贈られ、今11歳と10歳。将来は子供が生まれることが期待されています。来た当時はタイ語しかわからず、飼育員はまずタイ語を覚えたそうですが、今はもうタイ語は忘れているかも知れません。

それから、千葉県「市原ぞうの国」には9頭の象がいて、その内3頭がタイの象。同園の11人の象使いはタイのスリン県とランパーン県出身で、彼らは象を尊敬していて、象に対する接し方や言葉遣いにも気を遣うそうです。

タイ王国大使館編集の「日本で会える タイの象」より



世界の味と文化を楽しむ

第7回水かけまつり&ワールドフェスタ



去る8月16、17日の2日間、さいたま新都心けやきひろばで第7回水かけまつり&ワールドフェスタが開催されました。タイの水かけまつり（ソンクラーン祭り）にちなんで始まったこのイベントも今は世界の様々な文化を体験するイベントになりました。

でも子供達のお目当てはやはり水かけまつり。今年も水かけに興じる子供達の声が夏空に響き渡りました。タイについては、タイ料理のテントの他に、ムエタイショー、カーピング教室が開かれていました。

当会の活動も紹介

入間市博物館で

「狭山茶の歴史と現在」開催中



▲マイトリー先生と共に原会長が写る写真

狭山茶の起源や歴史、現在の生産状況、お茶と健康に関する情報などが、道具や機械などと共に分かりやすく展示されています。

世界に広がる狭山茶と題したコーナーでは、当会が9年前、タイのロイヤルプロジェクトに狭山茶種子を贈り、アンカン地方で栽培されていることも紹介されています。

「お茶ってすごい」を実感できますので、ぜひお出掛けください。

会期は11月15日まで。

問合せは入間市博物館 ☎04-2923-7711へ



▲200点以上の資料が展示されている

●タイ人留学生の「生き様」に学ぶこと多し、反省。(Y)

●コムサック氏(君)の講演内容もさることながら、将来有望な若者を見る楽しさも体験しました。(O)

編集後記

バンコクのUIエレクトロニクス
スタイランド内
02-712-6575

タイ事務局連絡先

埼玉・タイ王国友好協会ホームページ

URL: <http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

●会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL: 049-247-5428
個人会員 2千円 FAX: 049-246-2118
(武州ガス城内)